

令和3年度公益社団法人山口県看護協会通常総会が開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

西生会長をはじめ、山口県看護協会の皆様方には、平素から健康福祉行政の推進に多大なる御尽力をいただくとともに、県政の各般にわたり、格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

とりわけ、新型コロナウイルス感染拡大防止にあたり、地域医療の最前線で業務に従事いただいておりますとともに、厳しい局面を打開する「切り札」として期待されるワクチン接種につきましても、多大なる御尽力をいただいているところであり、皆様には、深く敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

県としましても、引き続きワクチン接種の加速化を始めとする感染拡大防止対策に努めるとともに、早期収束に向けた対策の充実・強化を図り、皆様とともに県民の命と安全を守っていきたいと考えています。

さて、少子高齢化やそれに伴う疾病構造の変化など、人々の健康や医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、「健康の維持・増進」や「健康寿命の延伸」に大きな関心が寄せられ、生涯にわたる健康管理や予防医療体制の確立等、保健・医療分野のさらなる充実が求められています。

このため、私は、県の総合計画である「やまぐち維新プラン」に、「安心の医療・介護充実プロジェクト」や「県民一斉健康づくりプロジェクト」を掲げ、医療提供体制の充実をはじめ、地域包括ケアシステムの深化・推進、健康づくり促進システムの構築等に取り組んでいます。

特に、看護の分野においては、患者様の視点に立った質の高いサービスの提供や、療養生活の中でのきめ細かなケアなど、高度化・多様化するニーズへの的確な対応が求められており、看護職員の確保・定着と資質の向上に向けた取組を一層推進し、コロナ禍においても、県民の皆さんが安心して暮らせ、豊かさを実感できる、そうした希望あふれる県づくりにしっかり取り組んでまいります。

この取り組みを進めていく上では、地域における看護師確保や資質向上を推進する中核的な組織である山口県看護協会の皆様方、そして現場で従事さ

れる皆様方のお力添えが不可欠と考えておりますので、引き続き、格別の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、公益社団法人山口県看護協会の今後ますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝と御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和3年6月19日

山口県知事 村岡 嗣政